

第3号様式

平成23年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A13	取組 名称	学校裏サイト等の監視支援システムの実用化
研究代表者： 生命環境科学研究科 教授 吉富 康成			
研究担当者： 京都府立大学（田伏 正佳、浅田 太郎 ほか） 外部分担者・協力者（京都市教育委員会 生涯学習部 池田 弘二 氏 ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都市教育委員会 生涯学習部			
【研究活動の要約】			
<p>インターネット上に書き込まれている「いじめ語」および「注意語」（「死にたい」など）を検出するシステム（以下、「本システム」と表記）の実用化研究を行った。そして、京都市教育委員会および京都市立の中学校、高等学校と協働して、京都市で本システムの実用化研究を進めた。平成23年5月11日から7月の期間は、京都市立の中学校、高等学校のうち8校のモデル校について、学校裏サイト等（約250サイト）の監視を行い、平成23年8月から平成24年3月の期間は、京都市立の中学校のうち20校のモデル校について、学校裏サイト等（約750サイト）の監視を行い、必要に応じて、京都市教育委員会に通報を行った。また、同期間、「いじめ語検出結果 月例報告」を、京都市教育委員会に月1回提出した。これらの活動を基に、本システムを実用化段階まで高めた。また、携帯のみ閲覧可能なサイトについて、閲覧制限の仕組みを調査した。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>本システムの試行の結果として、1台のパソコンを用いて、一人の担当で、計600校程度の小、中、高等学校について、学校裏サイト等の監視を、1日1回行えることが明らかになった。また、システムの高効率化に必要な要素技術が明らかになり、平成24年度の研究課題とした。</p> <p>平成23年5月11日から7月の期間は、8校のモデル校で月平均2件、平成23年8月から平成24年3月の期間は、20校のモデル校で月平均5件、の「問題のある書き込み」を、京都市教育委員会に通報した。通報内容は、友人、教職員、親などに対する誹謗中傷、および、自殺願望であった。</p> <p>「いじめ語」未更新サイトの判定、形態素解析用データベースおよび実名データベースの見直し、など、本システムの効率的運用のための技術開発を行った。また、携帯のみ閲覧可能なサイトについて、実際に行われている閲覧制限の仕組みを明らかにした。</p> <p>本システムは実用化段階にあることから、今後は、事業化に向け、企業との共同研究にも着手する予定である。</p>			
【研究成果の還元】			
<ul style="list-style-type: none"> ・ H23/5/11～H23/7 は、モデル校8校、H23/8～H24/3 は、モデル校20校について、学校裏サイト等を監視し、必要に応じて、京都市教育委員会に通報 ・ H23/5～H24/3 「いじめ語検出結果 月例報告」京都市教育委員会に月1回提出 ・ H23/9/24 南丹市の人権教育講座で、本研究成果を講演 ・ 「学校裏サイト等の監視支援システムの実用化」, 府大広報- 地域貢献特集号 -, No. 168, pp. 6, 2011. ・ 「「いじめ語指数」と個人名検出を併用した学校裏サイト監視支援システム」, 第10回情報科学技術フォーラム講演論文集, Vol. 3, pp. 749-750, 2011. 			
【お問い合わせ先】 生命環境科学研究科 情報伝達システム学研究室 教授 吉富 康成			
Tel: 075-703-5432		E-mail: yoshitomi@kpu.ac.jp	

参考 (イメージ図、活動写真等)

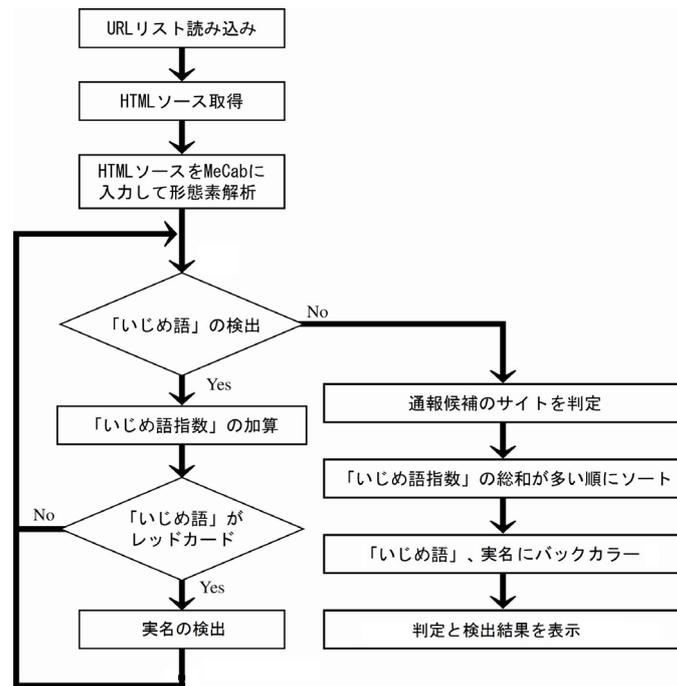


図1 処理の流れ

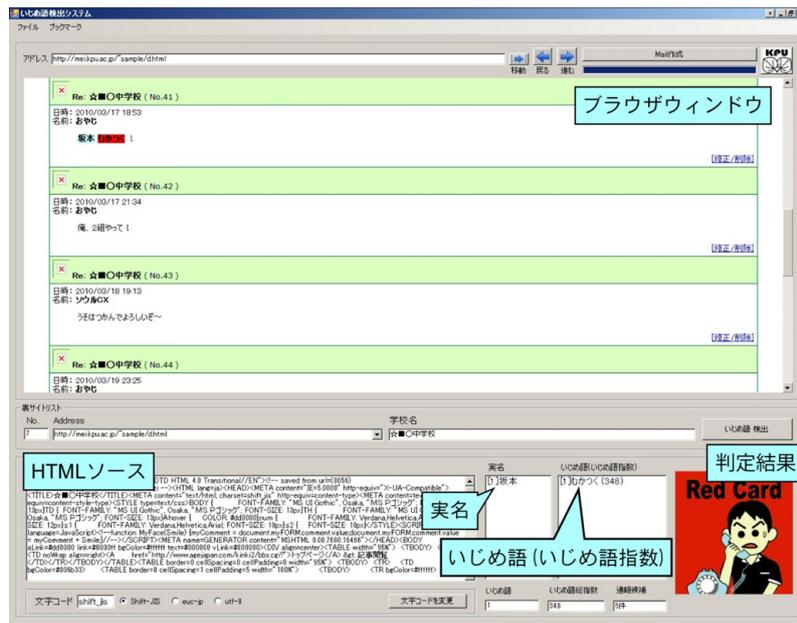


図2 システムの実装フォーム



図3 判定結果の表示例